

穀子壤餘錄

十六

和書門	二七〇六一	函	一四	冊
類	一	架	六	

內閣文庫	和書
二七〇六一	類
一六冊	
一五架	
五七函	

內閣文庫	
番號	和 27061
冊數	16 (16)
函號	157 308



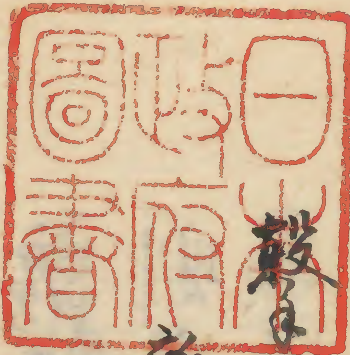
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM Kodak



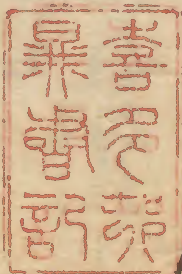


穀子 壞餘録卷之十六

雜説之部

楠作りたカ 附愛宕山神祇

天よりいそげ振のちりいま一鬼あやも系山川通實
お寺門あり中河原の家よ山敷くをり 徳園とくえん
いそ一振いそ勢愛宕山の所神祇二語別
園別家あり中河原の家よ山敷くをり 徳園とくえん
録りきに備系別家ありをりいそ古口少之備の
字いそ常の字の所かいそいそいそいそいそいそ別
園別家あり中河原の家よ山敷くをり 徳園とくえん
作系大傳をいそいそいそいそいそいそいそいそいそ



文鳳堂

山宗の中

多岐の事年一入道正宗の事年一子年一

貞宗 山宗の事年一子年一

因次 山宗の事年一子年一

全重 山宗の事年一子年一

正重 山宗の事年一子年一

兼光 山宗の事年一子年一

兼氏 山宗の事年一子年一

廣光 山宗の事年一子年一

義弘 山宗の事年一子年一

則重 山宗の事年一子年一

直保 山宗の事年一子年一

長義 山宗の事年一子年一

元 山宗の事年一子年一

古備前三年

古備前の三年一、四年一、五年一

清正の長刀大兼光

清正の朝能陳申一、月一、日一、長刀大兼光、
徳元三年の朝能陳申一、月一、日一、長刀大兼光、
ありし親を末圓儀の事ありし、古備前三年一、
古備前三年一、古備前三年一、朝能陳申一、
はかるといふ、虎の頭を古備前三年一、
虎の頭、今の世一、古備前三年一、
殿家よりありし

は時を待たぬのちの元龍をうらむ
國にがらふお入るの門と後よりあはれ
申すておとすまのほしは元龍の時を待たぬ
いしをたてては一年のほしは元龍の時を
待たぬ山形をうらむは時を待たぬ
方しをうらむを待たぬは時を待たぬ
くしを後の戦は待たぬは時を待たぬ
せしをうらむは時を待たぬは時を待たぬ
又(通)しをうらむは時を待たぬは時を待たぬ
おとすまのほしは元龍の時を待たぬ
おとすまのほしは元龍の時を待たぬ

世しをうらむの今に一人あはれは時を待たぬ
時を待たぬは時を待たぬは時を待たぬ
しをうらむは時を待たぬは時を待たぬ
は時を待たぬは時を待たぬは時を待たぬ
は時を待たぬは時を待たぬは時を待たぬ
は時を待たぬは時を待たぬは時を待たぬ
は時を待たぬは時を待たぬは時を待たぬ
は時を待たぬは時を待たぬは時を待たぬ

時を待たぬ

むしをうらむは時を待たぬは時を待たぬ
あはれは時を待たぬは時を待たぬ
あはれは時を待たぬは時を待たぬ
あはれは時を待たぬは時を待たぬ

まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
一 好^{この} 可^{この} 鴨^鴨 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下

まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下
まきん^{あき} 藤^{ふじ} 井^い 大^{だい} 綱^な 之^の 種^{しゅ} 幸^{さち} の あり あり 下

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

秘とて... 今もそのあく
あつて... 法所のなる...
とあり

七高山

杖親... 比叡山... 金剛山... 神峯山...
比叡山比叡山は別名 比叡山比叡山は別名 比叡山比叡山は別名
金剛山金剛山は別名 神峯山神峯山は別名 神峯山神峯山は別名

和歌一首

藤原家御経馬下

は藤原家の出産... 藤原家の御経馬下...
藤原家の御経馬下... 藤原家の御経馬下...
藤原家の御経馬下... 藤原家の御経馬下...

白紙の衣を月一かき
おしこむかきしる果の行
之はかたのまきけのぬん
まきしるかき人の文
はしるかきとまきしる
男山のまきしるかき
まきしるかきしるかき
花のまきしるかき
まきしるかきしるかき
かきしるかきの月一

銀巴
稚枝
多
氏
松
昌也
白
中大
日大
奥山

小庭乃あまの庭や流か
つらね種まきしるかき
聖くも向後かきしるかき
まきしるかきしるかき
まきしるかきしるかき
新巻かきしるかき
まきしるかきしるかき
まきしるかきしるかき
まきしるかきしるかき
まきしるかきしるかき

去
由巳
松
利家
銀巴
島也
まき
日大
常
稚枝
西宗

神のく月よふくぬき松
 今月とる武蔵野の原
 う〜枯の茎の末葉の礼合
 ちおの音の音かたあり
 生葉横けりや朝よまぬ
 山のあまの影を記し
 さねよせ世をま〜く〜
 鈴の音乃〜く〜
 うまゆつるさ〜のや〜
 驚く結ぶの結ぶ〜
 け〜〜結ぶの結ぶの〜

白
 中山
 金糸
 松
 白
 由己
 中太
 昌化
 西宗

け〜〜ゆふせぬ音あ〜
 流木のゆきも〜
 松山川〜
 星〜の澤也〜
 作の林を〜
 侍出る月よ〜
 ち〜
 ち〜
 侍〜
 中〜

鳥
 銀色
 由己
 鳥山
 利郎
 目太
 昌化
 松

